

113 心に感謝をもちながら

心に感謝をもちながら

主の庭(にわ)に入ろう

新しい日は主がつくられた

ともに喜び歌おう

賛美しよう 感謝しよう

ともに喜び歌おう——

賛美しよう 感謝しよう ともに喜び歌おう

「とこしえの道」

(詩篇139:23~24)

神よ わたしをさぐり
こころを知ってください

わたしの中に 傷つけるところがある
かないかを見て みちびきたまえ

とこしえの義の道に

新聖歌251番 「主イエスの御側(みそば)に」

1 主イエスの御側(みそば)に かくれ家(が)あり
罪もいざないも 知ることなし

* 贖い主よ われをそこに かくまいたまえ み恵みもて

2 主イエスのみもとに やすみ場(ば)あり
荷をときおろして いこいを得(え)よ * (くりかえし)

3 主イエスのみもとに 慰めあり
うれいも悩みも 消え去るべし * (くりかえし)

4 主イエスは医者なり その御手(みて)もて
いかなる傷をも いやしたまわん * (くりかえし)

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌111番 「生くる甲斐(かい)もなしと」

1 生くる甲斐(かい)もなしと独り 定めたりし者を
死をも賭(と)して救いませる 深きイエスの愛よ
* 十字架 十字架 そこに君は つきて死にたまえり
十字架 十字架 そこにわれの罪も 共に死せり

2 罪をそこにつけし今は いかで罪に問われん
神にありて 常にきよく 生くる身にしあれば

* (くりかえし)

3 君の御手に支えられて 道を歩むわれに
御名をほむる たたえ歌の 絶ゆる時はあらし

* (くりかえし)

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの
おお みかみに

ときわに たえせず
みさかえあれ
みさかえあれ
アーメン